

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略(H28.●改定案)の概要

参考資料 1 - 1

人口ビジョン

国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復の実現

(2020年1.80、
2030年2.07、
2040年2.30、
以降安定)

予測より20～39歳の子育て世代の転入出差を年間+30世帯

「子育て世代が居住を選択するまち」を目指す

2060年も5万人の人口を維持

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015～2019年度の5箇年)

基本目標(2019年度)と基本的方向

重要業績評価指標
Key Performance Indicator

「子育て世代が居住を選択するまち」実現に向け推進する施策

広島都市圏で1番の子育て支援

子育て世代女性100人あたり0歳児数9.23人
(現状8.72人：住民基本台帳人口で検証)

子ども連れ家族の生活利便の向上

20～39歳女性が前年の19～38歳女性比で59人増
(「何も対策を講じなかった場合」の予測では29人増：住民基本台帳人口で検証)

子どもに伝える地域の魅力向上

保育所の一人当たり面積
2.62㎡(非対策時2.59㎡)

子ども向けボランティア活動年8回(現状3回)

放課後児童クラブ利用児童数647人(現状463人)

放課後子供教室の当選割合約88%(現状約66%)

学校の年間の県大会出場件数1割増

中学校卒業時の英検3級以上取得率50%(現状13.2%)

助成対象の子どもの推定数5,629人(現状3,242人)

12感染症の年間発生件数1割減

子育て世代女性100人あたり0歳児数9.23人

町内主要箇所の徒歩者等通行者数の平均1割増

町営コミュニティバスの年間利用者数2%増

レンタサイクルの年間のべ利用件数250件

祖父母が孫を保育する「孫育て」の支援

大学生が子どもに遊びを教える等のボランティア活動支援

児童センター等が設置される(仮称)北部総合福祉施設の整備推進

放課後児童クラブ(留守家庭児童会)の時間帯、対象学年の順次拡充

放課後子供教室の取組強化

ICT機器等配備による質の高い教育提供

地域の国際力を活かした小中学校英語教育の充実

幅広い子育て世代が利用できるよう、子どもの医療費の助成制度を改善

感染症の知識普及や新たな予防接種の負担軽減の実施

不妊治療支援による希望する出産の実現

子ども連れ家族が安全で快適に移動しやすい歩行者空間整備

おむつ交換台設置店等の店頭表示等

公共施設等へのベビーカー等配備

子どもを前後に乗せる3人乗り自転車貸出

一部ルート変更やバス停整備等によるつばきバスの利便性向上

レンタサイクル、マップ作製等による観光散策の環境整備